

# 【 入院診療計画書 : 鼠径ヘルニア根治術を受ける方へ 】

ID

氏名

様

- 【 病名: 鼠径ヘルニア 】
- 【 特別な栄養管理の必要性 : あり なし ※当院では、管理栄養士による栄養評価を行い必要に応じて栄養指導させていただきます。】
- 【 栄養計画 : 食ありの場合→院内約束食事箋に基づき適切な栄養管理に努めます。 食止めの場合→絶飲食の為の輸液管理を行い適切な栄養管理に努めます。】
- 【 総合的機能評価 : あり なし ※総合的機能評価を行う場合の評価結果は別紙にてご説明させていただきます。】

注:病名/入院期間等は、現時点で考えられるもので検査や治療、病態により変更となる場合があります。

| 経過   | 手術前日まで   | 手術当日術前   | 手術直後～安静解除まで  | 安静解除～退院まで   |
|------|--|--|--|---|
| 日時   | 月 日( )   | 月 日( )   | ★入院する場合の退院日 月 日( )   |   |
| 目標   | <input type="checkbox"/> 風邪症状などの体調不良がなく全身の状態が落ち着いている。<br><input type="checkbox"/> 手術にむけての準備ができています。  |  | <input type="checkbox"/> 傷の痛みが、痛みのNRS評価表を用いて5以下でコントロールできる。<br><input type="checkbox"/> アレルギー症状・呼吸困難・出血・麻酔の副作用による症状などがなく全身の状態が落ち着いている。<br><input type="checkbox"/> 食事摂取ができる。<br><input type="checkbox"/> 問題なく排尿できる。<br><input type="checkbox"/> 退院後の日常生活の注意点を理解できる。   |   |
| 食事   | <input type="checkbox"/> 24時以降食事不可(禁酒)。飲水は当日( : )まで可。(水・麦茶・アルジネードウォーター)  |  | <input type="checkbox"/> 局所麻酔・静脈麻酔で手術された方は、術後1時間程度で症状に合わせ飲食可となります。<br><input type="checkbox"/> 腰椎麻酔・全身麻酔で手術された方は、術後3時間程度で症状に合わせ飲食可となります。   |   |
| 検査   | <input type="checkbox"/> 外来にて術前検査済みです。   |  | <input type="checkbox"/> 手術直後に手術室で腹部のレントゲンをとります。(※全身麻酔の場合は胸部のレントゲンをとることがあります。)   |   |
| 治療処置 | <input type="checkbox"/> 手術に備えて体調を整えましょう。<br>   | <input type="checkbox"/> 義歯・装飾品・湿布類・眼鏡・コンタクトなどを外し手術着へ更衣します。<br><input type="checkbox"/> 体温・血圧など測定します。<br><input type="checkbox"/> 点滴をはじめます。<br><input type="checkbox"/> 手術する部位にマークをつけます。<br><input type="checkbox"/> 全身麻酔の場合は、弾性ストッキングを着用します。<br> | <input type="checkbox"/> 体温・血圧などを測定します。<br><input type="checkbox"/> 点滴は継続します。<br><input type="checkbox"/> 1泊の方は寝衣へ着替えます。<br><input type="checkbox"/> 全身麻酔の方は酸素マスク、フットポンプ、心電図モニターを装着します。  | <input type="checkbox"/> 体温・血圧など測定します。<br><input type="checkbox"/> 食事が半分以上食べられて、排尿があれば点滴は終了となります。<br><input type="checkbox"/> 腰椎麻酔の場合、麻酔の回復状況に個人差がありますので初回の排尿までに時間がかかる場合があります。最後の排尿から6～8時間以内に排尿がない場合は、尿を管でとることがあります。<br><input type="checkbox"/> 全身麻酔の場合、酸素マスク・心電図モニター・フットポンプは約3時間程度で外します。<br><input type="checkbox"/> 日帰り手術の方は、退院前に医師の診察があります。 |
| 安静度  | <input type="checkbox"/> 制限はありません。   |  | <input type="checkbox"/> 局所麻酔・静脈麻酔で手術された方は、術後1時間程度で歩行できます。<br><input type="checkbox"/> 腰椎麻酔・全身麻酔で手術された方は、麻酔が完全に切れたのを確認してから歩行できます。<br><input type="checkbox"/> 術後、最初の歩行の際は必ず看護師が付き添います。お一人で立ち上がらないようにしてください。  |   |
| 説明指導 | <input type="checkbox"/> 手術前日までに入院・手術のオリエンテーションをします。<br><input type="checkbox"/> 内服に関して<br>・休薬( )<br>・休止薬以外の朝の薬はいつも通り飲んで下さい。( )<br><input type="checkbox"/> 男性はひげを剃ってきて下さい。<br><input type="checkbox"/> お化粧品/マニキュア類はしないで下さい。<br><input type="checkbox"/> 全身麻酔の方はどなたか付添いをお願いします。<br><input type="checkbox"/> 当日は送迎か公共の交通機関で来院して下さい。 |  | <input type="checkbox"/> 手術後、痛みがあるときはお薬を使用しますので我慢せず看護師へお伝えください。<br><input type="checkbox"/> 日帰り手術の場合、退院時間の目安は術後約4～6時間程度となります。<br><input type="checkbox"/> 日帰り希望の方でも、医師の判断により1泊入院になる場合があります。(例:痛み、出血、排尿困難などの症状がある場合)<br><input type="checkbox"/> 次回の外来予約は術後約7～10日前後です。予約表をお渡ししますのでご確認下さい。<br><input type="checkbox"/> 休薬は、( / )から再開となります。<br><input type="checkbox"/> 退院時間は、医師の診察後( )時頃になります。 |   |



|                                    |  |       |      |       |   |   |
|------------------------------------|--|-------|------|-------|---|---|
| 上記、入院診療計画について十分な説明を受けましたので同意いたします。 |  | 同意年月日 | (西暦) | 年     | 月 | 日 |
| 本人/親族<br>または代理人(続柄)                |  | 主治医   | 印    | 説明看護師 |   |   |

## 【退院翌日から次回外来診察日 月 日( )までの過ごし方】



日帰りで退院された患者様: 傷の痛みや体調の確認のため、手術翌日、看護師よりお電話をさせていただきます。  
ご質問などありましたら遠慮なくお尋ね下さい。(日曜祝日の場合は休み明けにお電話します)

### 《傷について》

- 1、傷口は約4センチ程度です。(腹腔鏡で手術された方は約1センチ程度の傷が3カ所です。) 傷には傷が乾燥して治ると自然にはがれ落ちるテープが貼ってあります。さらにその上に透明な防水フィルムで保護していますので、フィルムははがさずそのままにしておいて下さい。  
※防水フィルムがはがれてしまった場合は、市販の防水絆創膏で保護して下さい。  
※防水フィルムの上にガーゼと白いテープで止めてある場合は、手術2日後に外して下さい。( / )
- 2、傷口周囲と下腹部(陰部周辺)が腫れたり、内出血により青あざが残りますが、約1ヶ月前後で自然に治ってきます。熱感がなければ次回の診察まで様子を見て下さい。

### 《痛みについて》

- 1、痛みの程度や持続期間には個人差があります。強い痛みは通常3～5日程度の安静で軽快しますのでこの期間は無理な外出を控え、痛みのあるときは我慢せず処方された痛み止めを飲んで下さい。

### 《生活について》

- 1、シャワー浴は、退院翌日から可能です。入浴は次回の外来診察で医師の許可が出てからとなります。
- 2、デスクワーク程度は可能ですが、重い物を持つたり、長時間の立ち仕事は控えてください。
- 3、運動については次回の外来診察で医師に相談して下さい。
- 4、嗜好品(タバコ・アルコールなど)は次回の外来受診まで控えてください。
- 5、腰椎麻酔による副作用で、術後2～3日に頭痛症状が出る場合があります。痛み止めを飲んで安静にして下さい。

### 《次のような症状がある時には外科外来にお問い合わせください》

- \* 防水のフィルムが浮いてしまうほどの出血が見られるとき
- \* 痛み止めを飲んでも、痛みが和らがないとき
- \* 38度以上の発熱症状があるとき
- \* その他、不明な点がある場合

(※なお、診療時間外、休日の場合は救急外来で対応させていただきますので病院代表まで御連絡ください)

